

## 令和4年度 第6回社会教育委員会議 会議録

開催日時	令和5年3月23日 木曜日 13時30分から16時まで
開催場所	町民センター2Aクラブ室
出席者	森英夫教育長、蓮實茂夫委員長、関口金由紀委員、橋本由恵委員、三宅栄子委員
欠席者	久保田秀美副委員長、稲葉通隆委員、山内みどり委員、中西美保委員
事務局	椎野教育部長、竹本課長代理、加藤生涯学習班長、二見主任主事
その他	傍聴者なし

### 1 開 会

### 2 あいさつ

### 3 議 題

#### (1) 生涯学習推進計画について

(委員長)

推進計画は町の報告書などのように冊子をカラー印刷するのか。

(事務局)

印刷会社に頼むようなことは想定していない。何冊かは、事務局でカラー印刷したい。ホームページにデータをあげて、必要であればそこからダウンロードする形になる。

(委 員)

スケジュールの確認をしたい。今が中間取りまとめの段階とのことだが完成はいつか。

(事務局)

令和5年度末に完成する予定。

(委 員)

あと何回ぐらい変わる余地があるか。

(事務局)

推進体制の部分について修正を行ったが、少し心もとないため肉付けを行う。今後、内容について質疑等を行いながら、10月か11月くらいにパブリックコメントを募集して、年内に計画が確定するというスケジュールで対応したい。パブコメをやった後で必要な場合は修正を行う。

(委員)

丁寧に修正していただいて、アンケートのグラフも見やすくなった。肉付けとはどのようなイメージか。

(事務局)

生涯学習への取り組みは、生涯学習課だけでなく他の部局も実施している。例えば、子育てや健康、税に対する知識を身につけるなど。そういった多岐にわたったものが今の状態では欠けていて、充足されていない。こういった部分を洗い出し計画に取り入れていくと、皆さんも入りやすいかな、と考えている。

(委員)

素晴らしい。取りまとめは大変だと思うが、町の生涯学習が網羅されているものになる。

(事務局)

スケジュールの見直しを了承いただけたので可能となった。以前のスケジュールでは難しかったと思う。

(委員)

多岐にわたっているものをまとめていくことはとても難しいと思う。

(事務局)

各課の実態調査をやったうえで、どういう組み立てにした方がいいのかが明らかになり、そこから現在のものとどう結びつけていくのかを考える流れとなる。

(教育長)

目次のところの資料1のどの辺に入るのか。見立てた上で各課に照会をかけるのか、それとも逆に先にかけておくのか。

(事務局)

先に照会をかけることを考えている。実態を踏まえておいた上で、2章の現状と課題の部分に入ってくる。2章の今後の目標、重点的な取り組みにも反映して、もしかすると4章の推進体制にも影響が出てくるかもしれない。

(教育長)

各種施設の展開のところには影響があるか。

(事務局)

町内の様々な施設で活動は行われるので、ここの位置づけをもうちょっと明確にするのかどうか考える。

(教育長)

生涯学習課は、管轄している施設や設備が非常に大きく、かつ老朽化が進み、耐震改修が必要で、将来的にどうしていくのが良いかを、限られた人数で考えていかなければならない厳しい課である。施設再編課が別に作られている中で、なかなかリンクできていない。そこが非常に難しく、そこにちゃんとはいって、それが各種全体の計画の中に入れてよいと思う。

(委員長)

本当に範囲が広い。いろいろ肉付けされて9月までの間に良いものができ上がってくるのを期待したい。

(委員長)

前回のプランよりは細かくなっていると思うし、5年ごとに見直すということで、より密接なものになるだろう。

10ページの地域学校協働活動推進事業のところ、放課後子ども教室に特化していたところを直してもらったと思うが、地域学校協働活動推進員を配置して、こういう活動する、という推進員の活動しかないような印象を受ける。

(事務局)

ここは現状を説明している。2章があって、3章、4章へとつながる。

(委員)

私も気になったのが、これが何のための事業でどういう目的のためにやっているということよりも、例のほうが際立っている気がする。例が目立ってしま

うより、目的の方が重要なのでは。

(委員)

地域学校協働活動は内容が非常に幅広い。推進員の活動に特化してというようになりがち。

(委員)

配置したことで何をしたい、どうしたくて配置した、というところがもう少し表にでたほうが良い。

(委員)

肉付けするところは、2章の2「町の取り組み」あたりに入ってくるのか

(事務局)

その予定である。生涯学習に資する政策につながっていく。

(委員)

各政策の展開のところも変わっていくのか。

(委員)

新設された地域生涯学習振興事業補助金については、応援している、ということに記載しなくてよいのか。

(事務局)

町の取り組みの、にのみや町民大学の項目に記載している。

(委員)

ここに入れると町民大学の分校みたいなイメージにならないか。地域独自のものをつくってもいいという感じなのではないか。

(委員)

町民大学に縛られないほうがいい。

(事務局)

事業に対する補助である。名称や位置づけについては、検討課題としたい。

(委員長)

肉付けの関係で、町の取り組みで組織に投げかけてくれている生涯学習についての項目がそれ以外のところにも出てくるだろうが、3章や4章でも、推進計画の部分に加わってくると思う。連携を強化してとなると、影響が出てくる。

(委員)

国の中央教育審議会の諮問・答申が新たに出てくることになっているので、内容によっては修正が出てくることになるか。これを踏まえて、町としては肉付け等も考えていくのかなと思うのだが。

(事務局)

そうなると思う。

(委員)

これをみると相当範囲が広いので、肉付けの方向が大変になると思う。町の取り組みや体制とかも入れていくとなると、さらに厳しいのではないか。

(事務局)

概ねここに書かれている項目については、大きな方向性として変わりはないと思っている。

(委員)

生涯学習課の取組を中心に、他課の取組や活動を肉付けしていくとかなり膨大になってくる。どう、結びついていくのか。

(事務局)

まずは手広く見つつ、あまり拾ってばかりいても、まとまりがつかなくなってしまう場合もある。ただ、把握だけはしておきたい。

(教育長)

37ページの5年ごとに見直しをしていくということから、5年度中にはなんとか形を作った方が良い。

(事務局)

遅くとも5年度中には、完成させる。

(委 員)

肉付けのところが大きな柱となるのが理想だが、人員も少ない中、まとめていくのは大変だと思うので、大きな柱を基に選んでいくのがよいと考える。

(2) 令和5年度二宮町社会教育委員会議開催予定(案)について

令和5年度の会議内容開催日程等を資料に基づき説明。

(3) その他

- 神奈川県社会教育委員連絡協議会地区研究会の参加報告
- 温水プールの現状について報告

4 閉 会